

時局日誌 (九)

Y
H
生

四月十一日

王克敏行政委員長の狙撃事件で多大の衝動を受けた北京警察局長及び共產分子の清掃を期する天津警察局長では優秀な警察官十名を選んで日本に遊學させることとなつた。

伯林都市改良計畫はヒットラー總統指導の下に遂行することとなつた其の細目計畫は

- 一、デア・ガルテンを現在の二倍の面積即ち千六百萬平方呎に擴張する。
- 一、ベルリンの中央部に百萬人收容の大型會堂を建設する。
- 一、ケーニツヒ・プラッツの凱旋記念柱を移轉し、現在の高さ二〇〇呎を更に

二二七呎に增高。

- 一、大野外集會場建設のためスプレー河床を變更し同時に千噸の船舶が運行し得るやう河底を浚渫する。

一、住宅三萬戸を建設する。

四月十二日

新任イギリス支那艦隊司令官パーシー・ノーブル中將は此の日工部局を正式訪問し正午我が烟最高指揮官を訪問して挨拶されたが我が最高指揮官烟大將は「相互に明朗に愉快にやりませう」と挨拶せられた。

山西作戦に赫々たる武功を殘した皇軍將兵の戦跡を永久に記念するため山西省各地に日本の武士道を象徴する櫻樹を移植

すべくこの程朝鮮總督府より大邱産苗木

三千株とともに太原の〇〇機關にその斡旋方を申込んで来たので〇〇機關では直にこれを省内各縣に配給した、僻遠の地山西に櫻花爛漫の春の來るのも遠くはないと見られてゐる。

四月十三日

事變のため昨年九月四日外務省に奉選した青島、濟南兩總領事館の御眞影は治安恢復し兩館再開により再び兩館に奉安する事となり、此日青島入港の日光丸に奉載し來つた御眞影は門脇總領事代理が船上より奉戴青島總領事館に安置し奉つた。

四月十四日

科學審議會官制(四、五勅令

第二四八號) 公布

四月十五日 外國郵便爲替規則中改正 (遞信省令第三號) 公布

皇軍先頭部隊がさきに占領した支那有数の炭坑地環莊は我が空軍が民家爆撃を避けたのと支那機の盲爆が幸ひ一向命中しなかつたため奇しくも荒廢から救はれたが、坑夫や住民達は兩軍の飛行機が来る度に雪崩を打つて地下の坑道へと殺到、遂に横に三キロ、長さは臨城に向つて蜿蜒二十五キロといふこの坑道内に臨時地下街が發達、住民八千に達して各家族は世帯道具を並べ、地上から商品を持ち込んで酒屋や食料品屋も店を出す始末、電氣水道こそないが今や坑内は日獨支の技師連の努力によつて排氣排水も完全となりなまじ地上よりは住み良いと地上の安全回復した近頃でも未だ半分は地下に残つて居る。

在三十數萬(事變前四十五萬)あり、在留邦人も三月末既に一萬餘人(事變前一萬五千)に達してゐる、支那人未歸還者の大部分は紡績職工であるが、これも追々歸還するものと見られてゐる、その他最近の一般狀況は左の通り、

一、治安は治安維持會々々張祺氏の指導下に極めてよく維持され復興委員會も亦着々成績を収めてゐる。

一、大港口百二十メートルの啓開作業は三月末完成し六千トン以下の汽船は埠頭に横附けが出来、埠頭事務所は四月一日より事務を開始した。

一、電信電話は華北電政當局が四月一日より營業、郵政も臨時政府郵局派遣員により運用され、ラヂオの放送も開始された。

常に強硬態度を以て臨んで來たが、獨伊樞軸の確立により先づ集團保障制を粉碎更に昨年十二月には國際聯盟を脱退してヴェルサイユ體制の修正に向ひソ聯の歐洲政局における勢力をも相當程度に驅逐し得たのでスペイン問題が峠を越すと同時に多角的外交に轉換、こゝに英伊の握手となつたものである。即ちイタリー政府は茲にV字型歐洲政策を執り一方においてはドイツと提携、他方においては英國と協調し爾餘の諸國をこのV字型外交のうちに抱擁し精神的提携と更に實益的協調の一石二鳥的立場において英佛獨伊四強國、若しくはこれにポーランドを加へた五強國による歐洲の平和維持體制を確立せんとする方針であると解される。

戰禍の南京復興の原動力を與へようと東京同仁會が我が醫學界の若手の錚々たる十餘名、藥劑師二名、他二十數名の看護婦を加へ總數三十餘名に上る充實したス

四月十六日

イタリー政府はエチオピア征服後外交の基調を獨伊樞軸に求め英國を中心とする所謂現状維持主義國家に對し

タツフを揃へ中支派遣第一診療隊として南京へ乗込んで、支那人に仁術の恩恵による力強い宣撫の實績を挙げようとしてゐる。一行は岡崎祇容氏を班長に内科、外科、小兒科、産婦人科、耳鼻科、レントゲン科その他十科綜合の豪華診療隊を張り、先づ南京病院を本據として軍當局の支援に依り本月下旬から診療を開始するが、先遣隊は十六日夜到着續々上海經由で南京入りをするはず。

四月十七日 我が軍特務部では戰禍を受けた農村に對し播種に差支ないやう各種々子を配給することゝ、この程太原に棉花種子一千袋、靱三百七十五袋、粟千八百袋を送つて來たので、棉花は現地の織紡、東洋紡、上海紡の三社に委託して太原に四分の一、新絳に二分の一を配給せしめ將來右三社が棉花の買附けを保證、又靱は水田開發地方となつてゐる太原、津源、沃曲の三縣に配給將來山西在任の

日本人に對する米の自給を計る又粟は正太鐵道及び同蒲鐵道沿線農村に配給することゝなつた。

四月十八日 河南省の敵掃蕩は着々進行して居るが新郷平野作戰終了以來敵の受けた損害は死傷約三萬遺棄死體だけでも七千を突破し鹵獲兵器機關銃三百餘迫撃砲三十餘洋砲百小銃彈藥等は夥しい數に上つて居る。

四月十九日 十九日香港到着の元國民政府外交部長陳友仁は外人記者に左の如く語つた。

「日本の對支戰爭は世界戰爭の一部である世界大戰を防止する最も安全な方法は平和愛好諸國が支那を助けるに在る獨伊兩國は一九四〇年迄眞の世界戰爭を開始する餘裕がないから、英佛が極東の干涉に出てもヨーロッパには何事も起らぬであらう、もし干涉が英佛及び米國の共同干涉の形をとり日本に對し支那侵略の即

時停止を要求する事となれば最も有効だと思ふ。」

四月二十日 此の日午前十時三十分頃小蚌埠北方の除家岡に約三百又新城口付近孝義集に機銃多數を持つた約二百五十の敵が逆襲し來つたが添田及び吉田兩部隊の反撃に遭ひ何れも交戰時餘にして死體多數を遺棄潰走した。我が方の損害は戰死一。

北カリフォルニア州に五千人の邦人會員を有する北加キリスト教同盟會は時局に鑑み左の如き聲明書を發表、在米キリスト教徒に對し一致協力を求めた。祖國の非常時に當り在外同胞も均しく國策に順應すべきは勿論吾人在米同胞も慰問袋恤兵金等に最善を盡しつゝあるも更に思ひを長期戦に繞らし我等各家庭に於て消費する各種物資は努めて日本品を求め祖國の海外輸出を促進し且つ精神總動員の舉に酬ゆる一石二鳥の策を講ずべし。」

四月二十一日 物價委員會令(四、二一、勅令第二七六號)公布

〇〇部隊に従軍中の〇〇宣撫班岸間重郎氏は十六日武鄉附近の戦闘で左足に貫通銃創を受けた、同氏は重傷に屈せず任務の達成に努めその勇敢な行動は武器なき戦士の眞面目を物語るものとして感歎されてゐる。尙今同で宣撫班の戦死は四名負傷三名、行方不明一名である。

四月二十二日 蒙古聯盟自治政府評議委員

會次長吳鶴齡氏は二十二日朝北京發列車で塘沽經由一路日本視察の途についた。同氏は東京を始め各主要都市において相當長期間滞在、我が政治、經濟その他各般に互り視察し、その結果に關しては隨時蒙古聯盟自治政府に報告書を提出蒙古自治政府政策實施の重要資料とすることゝなつた。

南京の電信局は局長信實一三氏以下四名の局員で復舊に努め既に去る五日から開

設、十八日からは日本内地への和文電報の取扱を開始したが、事變前の歐文電報に較べると約一割の料金で済むので居留民に盛んに利用され、毎日發着合計百數十通に及んでゐる。又電話局は林、高橋石原三技手以下日本人八名が支那人を使用し晝夜兼行で作業を行ひ、全部日本式技術を以て見事に復舊、二十三日から一般電話の架設の申込みを受け南京復興に拍車をかけて居る。

四月二十三日 支那事變後北京における日

本人の数は頗る増加し三月末までの届出で居住者は既に九千五百四十六人(内譯本島人六千四百四十七人半島人三千三百五十七人臺灣人四十二人)に達してゐるがこの外無届のものを合すれば一萬二、三千人を突破してをり、これら日本人の保護その他の各般の事務は益々複雑化して來たので過般北京總領事館を新設する事に決定着々準備中であつたが、いよゝ

二十二日附を以て北京日本大使館内に開設し初代總領事は堀内大使館參事官が兼任し其の下に島津三等書記官が領事を兼任高井領事(在天津)並に竹中、大澤兩書記官が北京に在勤を命ぜられてゐる。

揮發油及アルコール混用法施行令(勅令二八四號)及同法施行期日(五月二十五日)ノ件(勅令第二八二號)公布

四月二十四日 上海軍中野部隊は海軍と協力下に和縣附近に敵前上陸を敢行し同日午後和縣を占領し城頭高く日章旗を續した。

四月二十五日 香港を中心としての航空路

の發達は最近頓に隆盛となつて來たが今回更に佛領印度支那河内と香港間の定期航空路開設が英佛兩當局間で決定。

四月二十六日 北京臨時政府は二十六日市

公署並に特別市公署組織條例を公布し人口三十萬以上の都市は市公署を人口百萬以上の都市は特別市公署を設立すること

を發令、特別市公署は省政府の監督下に屬せず直接臨時政府に直屬した。市公署のみが各省政府の管轄下に屬することになつた。

四月二十七日 臨時政府振濟部では河南省

北部の食糧飢饉が豫想以上に深刻なので今回更に二十萬元で滿洲國より精白粟を百萬キログラム購入、五月初旬配給する事となつた。尙これに伴ひ同部では既に春耕種子の配給も豫定通り完了したので五月下旬を期し播種並に發芽狀況種子配給の農村治安に對する影響、農村における食糧の過不足狀態就中匪賊地帯の食糧問題等につき出先宣撫班員と協力して大々的調査を行ふ事に決定した。

維新政府は行政院直屬機關として宣傳局及び宣傳委員會を新設するに決し、二十五日行政院會議を通過した、國民政府は上海及び戦區に對し今尙執拗な宣傳を續行しつゝあり、維新政府宣傳局は之等逆

宣傳を粉砕すると同時に維新政府の正當なる發展を中外に闡明する重大任務を有するものである。

臨時政府は二十六日附を以て實業部人事

を左の如く發令した。實業部秘書譚寶惠、同陳家鳳、實業部參事金小偉、同孫宣、

同黃孝平、同林文龍、實業部技監張爾康

同梁上椿（實業部局長兼任）實業部局長

祕彥備

中央沃野開拓の尊い使命に一身を捧げる

ため臺灣から遙々海を越えて農業義勇團

が二十七日午後一時上海へ乗込んで來た

團長臺灣總督府技師熊澤三郎氏が引率す

る臺北、新竹、臺中、臺南、高雄各州か

ら選ばれた千七名の大部隊で、團員中内

地人は僅に十餘名、他は全部公學校卒業

の臺灣人で日の丸の旗を振り翳し、愛國

行進曲を齊唱、新しき希望に燃えた瞳を

輝かしながら上陸第一歩を印した。

四月二十八日 北支開發株式會社法（四、三

○法律第八一號）中支那振興株式會社法（四、三○法律第八二號）恩給金庫法施行期日ノ件（四、三○勅令第三〇五號）恩給金庫ノ設立ニ關スル件（四、三○勅令第三〇六號）公布。

湖南省主席張治中は外人記者との會談に於て昨年八月以來新兵の應募數は三十萬に達し本月中に二百萬の新銳を供給することが出来る、また湖南省の米産額は年四十萬トンで優に二、三百萬の前線の兵力を養ふに足り、農民は既に全部武装し全壯丁は目下訓練中である、と豪語してゐる。尙同記者は左の如く報じてゐる。「湖南省内は目下前線への軍隊輸送や食糧補給に追はれて大混雜を呈して居り、長沙には大規模な軍官學校が開かれ同校で訓練を受けてゐる學生は二萬五千人に達し多數の將校が出入してゐる。」

汾陽附近の戦團に於て我が軍のため徹底的に打ちのめされた山西第七十一師は再

び敗殘兵を糾合して約二千の兵力を以て二十五日午前六時頃離石に對して砲撃し卒に松井部隊は敵砲兵陣地に殺到し白兵戦を交へ潰亂せしめ翌二十六日にも一千の敵を急襲殆ど之を全滅せしめた。

臨時政府では中支地方の罹災者救済資金として二十萬元を維新政府に贈ることに決定し二十八日これに基き書簡を梁鴻志氏宛に送つた。

四月二十九日 米國上院外交委員長キー・ピットマン氏は二十八日UP記者を引見現在の歐洲の形勢から見て第二の世界戦争勃發の危険性が多分に存在する旨次の如く語つた。

「我々は今や第二の世界戦争の危険に直面してゐるが、大戦が突發すれば米國は結局これに捲き込まれることゝならう、歐洲に於ける事態の悪化はまことに憂慮すべき情勢にあるが、米國としてはこの紛糾を極めた國際問題の解決に自ら乗り

出して援助することは出来ない。」

天長の佳節に當り我が精銳なる數十機は漢口を空襲したが敵機八十餘機我を邀撃し來つたので、壯絶なる大空中戦が演じられた、我が軍善戦次ぎ／＼に五十一機の敵機を撃墜し事變以來空前の戦果を収めた。

四月三十日 應召者高等試験ノ特例ニ關スル件(勅令第三〇八號)公布

五月一日 山東省南端の要衝忻州は敵が山東省内における最後の據點として縣城の四圍六キロに互り嚴重なる陣地を構築し更に一ヶ師半の兵を配備して死守したものであるが、我が鐵軍〇〇、〇〇兩部隊は〇〇部隊長指揮の下に欣然勇躍して是が攻略に當つた四月十六日午後一時より萬堂集方面より攻撃を開始し群がる敵を撃破しつゝ、同夜は朱陳、二十里鋪、湖上の線に進出し十七日は小嶺小官庄の線に十八日朝〇〇部隊は李庄、〇〇部隊は

韓他、十里鋪を占領した、斯くて前進又前進で遂に忻州城に迫り更に十八日午前十時には橋坊、林庄、曾家莊の線に進出同夜から十九日朝にかけて城壁下に迫り砲煙彈雨の中を〇〇部隊の決死隊は城内へ突入、敵が難攻不落を誇る忻州城は我が〇〇部隊の手によつて十九日午前十一時完全に占領感激の日章旗を城頭高く春風に翻へした。

五月二日 召集セラレタル者高等試験特例ニ關スル件施行(閣令第一號)公布

此の日を初日として六日間地方官會議が開催された、午前九時總理大臣官邸に參集近衛首相の訓示を受けたる後宮中に參内 天皇陛下に拜謁仰付けられ正午聲明殿に於て御陪食の榮を賜ひ且つぶさに地方の實情に關し奏上する所があつた、近衛首相訓示の要領は左の通りである。
「事變發生以來、邦家の爲寧日なく努力された諸君の御勞苦に對し先づ以て謝意

を表します、御承知の如く事變は蔣介石政權の反省を促すといふ段階から、之を對手とせざる段階に入りまして、

既に數ヶ月を經過しましたが、蔣介石政權を徹底的に膺懲して之が潰滅を見るまでは斷じて退轉せず、之と同時に北支並に中南支に成立した防共、親日新政權の育成發達には國を擧げて全力を集中するといふ大方針を以て一路邁進しつゝあるのである。此の方針は微動だもするものではないのであります。斯く觀じ來れば寔に稀有の重大時局と申さねばなりません、勿論長期戦は蔣介石の豫て主張せる所であり、窮境に苦悶する蔣政權の盛んに喧傳しつゝある所でありますが、抗日反日の爲に手段を選ばぬ蔣政權の潰滅を圖り、東亞の禍根を根絶せんが爲には、幾年を費さうとも帝國既定の方針には何等變りはないのであります、諸君はこの

帝國不動の大方針に鑑み之が遂行の爲に今後一段と盡力せられたいのであります。

去る第七十三回帝國議會は、事變下舉國一致の國民の意思が反映致しまして、政府提出の重要法案たる國家總動員法、電力國家管理法等を初め八十六の法律案全部が通過し、又八十億に上る多額の豫算も無事に成立した、此等の法律及び豫算に就いては、慎重な態度を以て其の有効適切な運用を期せねばならぬのであります、殊に時局の前途尙遠遠なる今日、銃後の援護は愈々重要であります、此の事態に即應する爲政府に於ては諸種の緊要なる對策を樹立すると共に、傷痍軍人保護の爲に今回厚生省に傷兵保護院を設立する等銃後援護對策の實施に遺憾無きを期しつゝある次第であります、更に事變の推移に應じ帝國所期の目的達成の爲

には、物心兩面に於ける總動員態勢の完成が緊要である、之が爲或は物資需給の調節に、或は生産力の擴充に、あらゆる手段を盡さねばならぬ、特に消費の節約、貯蓄の増加に就ては普く國民の堅き決意の下にその實現を期せねばならぬ、全體的調和の前には個人の慾望は抑制せねばならぬのであります、此の如きは時局の深き認識の上に立つ全國民の自發的協力に俟つ所少くないのであつて、全國民の之が實踐躬行こそ銃後に於ける御奉公の道であり所謂日本精神を日常生活に活かす所以であると思ふ、各位の格別なる配意を望む。

私は事變發生以來戦場に銃後に涙ぐましく日本精神の發露を見、躍進日本の呼吸を感得して密に心強く思つて居るものであります、かの根強い抗日容共の思想と政策とを打ち滅さんが爲に

は、此の國民精神の基礎の上にあらゆる活動が行はねばなりません、我が國過去の歴史は此の信念と感情との上に營まれたものであります、現在に於ける日支の抗爭も、將來に於ける我が國の世界的貢獻も皆之が繼續發展に外ならないと考へる、私は此の世界に誇るべき正義日本の眞意と躍進日本の眞姿とをはつきりと世界の隅々まで知らせたいのであります、それはあらゆる機會に國民の誰でもが爲し得るものであり、爲さねばならぬ所であると信ずる。

本年は恰も憲法發布五十年に當り、又自治制發布五十周年を迎へたのであります、其の祝賀式典に際しては夫々特に優渥なる勅語を賜はり、寔に感激に堪へぬ次第であります、殊に其の勅語の中に於て、前には「至公無私」と仰せられ、後には「私を去り公に奉し」

と宣ひ、臣民奉公の道を重ねて御諭しになつた事に就て、私は深く恐懼するものであります、私は此の聖旨を奉體し全國民が悉くその職分に於て忠誠を盡さるゝ様期待して已まぬ者であります、今後に対處する諸方策に關しては各大臣より夫々所轄事項に付詳細指示せらるゝことと思ひますが、各位に於かれては聖旨を奉體し、指示に従ひ、諸方策の遂行に萬遺漏無きを期せられんことを望む次第であります。

五月三日 國有鐵道防空規則（鐵道省令第

二號）公布

地方官會議の第二日目を内務省會議室に於て開會末次内相から別項の如き訓示ありて指示事項を付議し自由討議を行ふた午後の會議に於ては末次内相は事變處理の根本方針として即戰即決主義を強調せられた。

二日午後七時半フランス租界格洛克路十

一號の食料品店徳味食品公司二階食堂へ一名の支那人青年が闖入し來り會食中の六名の支那人男女に向つて突如ピストルを亂射、主人客と見られる一名の支那人は三彈を浴びて即死した。駆けつけたフランス工部局の警官隊の取調の結果所持品その他により被害者は前厦門警備司令陸軍少將李崇寅で現在は李廣と變名上海に潜伏して別働隊長の任務に就き上海擾亂を企てゝゐた抗日テロの重要分子なること判明した。

五月四日 國家總動員法施行期日（昭和十

三年五月五日）ノ件（勅令第三一五號）

同法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件（勅令第三一六號）、工場事業管理令（勅令第三一八號）國家總動員審議會官制（勅令第三一九號）公布

〇〇部隊は五月初より三山鎮沱家巷、寧國、拱林橋までの蕪湖西側南方地區において各數千の敵を掃蕩撃滅し多大の成果

を収めた。

常州警備の我が〇〇部隊は三日拂曉常州南方九キロの鳴鳳鎮に殘敵集結中との情報を得てこれを奇襲包圍しその中百餘名を捕虜とし銃器彈藥多數を鹵獲した。

四日確實なる筋へ達した情報によれば、一、蔣介石は目下武昌の徐家棚に在る舊張學良邸を本據とし時々漢口に赴くが途中の警戒は頗る嚴重で殆ど完全なる交通遮斷をなしてゐる。

一、漢口に避難の支那實業家及び國民政府要人家族等は殆ど全部四川省成都又は雲南省昆明に遁入してゐる。

一、漢奸潜入阻止を口實として漢口に於ては毎日嚴重なる戸口調査を行つてゐる。

一、元國民政府考試院副院長劉蘆隱は蔣介石より陳群氏の維新政府入りを阻止せよとの密令を拒否した廉により武昌に監禁されてゐるとの事である。

五月五日 馬頭鎮（涿州東北方附近）で先

きに共匪のため鐵道襲撃を強制された匪首陣東來の部下張速東、胡海等の各部隊付三千はこの程我が軍に歸順を申出で、我が軍當局ではこれを冀北防共自衛軍と改稱し、今後共匪の討伐に協力せしめる筈である。

五月六日 江蘇省阜寧は鹽城の北方百二十

五支里、射陽河の北岸にあつて、串陽河射陽河及び滙安に通ずる運河の會合點に當るを以て水運の要地、又陸路は東次、安東に至る交通の中心である、阜寧縣城は長方形の城壁をもつて圍まれ、城壁の高さ一丈半、厚さ四尺にして、四つの城門あり、南門外の射陽河に沿ふ地域は繁華街として商業殷盛、鹽の産地として著名であるが我が軍は此の阜寧を攻撃し其の一角を占領。

五日我が〇〇部隊は折柄の雷雨を冒し王塘集（重坊西南方約五里）に夜襲を決行

し堅固なる村落の圍壁に據り頑強に抵抗する敵を殲滅遂に同地を占領した。

五月七日 五日〇〇附近爆撃に際し行方不明になり敵砲のため戦死を遂げたものと

見られてゐた衣川部隊室本精一大尉、古田義滿曹長機は七日奇蹟的にも生還した兩機は〇〇部隊前面の敵を偵察並に爆撃中午前十一時頃阜寧西南方の敵陣地上空にてガンリン・タンク及び機翼に五、六弾を受け鹽城西方の沼地に不時着の已むなきに至つた。附近の敗殘兵及び土民の襲來を搭載機銃にて必死に應戦中殘敵掃蕩に活動中の佐藤部隊の一部が之を發見救援に駆けつけ友軍の荒鷲も上空より之と協力し群がる敵を追ひ散らし同日午後三時頃鹽城まで飛行機を護送して來たのである。

五月八日 八日朝重慶臨江門街より發火し

火の手は折柄の風に飛仙宮、冀塘灣、象鼻巖、臨江正街等目抜き市の市街に延燒約

八千戸を燬失、死傷者數百人を出した、重慶全市は大混亂に陥り十七年來の大火として市民は戦々兢兢としてゐる、市街には蔣政權の利己的な對日抗戰のためだと流言蜚語が飛び爲に全市は戒嚴同様の状態にある。尙重慶は蔣政權が首都南京を放棄して以來こゝに國民政府主席を移轉せしめ現在國民政府の所在地として名目上の首都となつてゐるところである。

我が〇〇飛行隊は八日午後四時頃増援隊と覺しき敵軍隊が軍需品と共にトラック二百臺に分乗して安徽省西北部潯州附近を通過中なるを發見これに果敢なる爆撃を加へ、その大半を粉碎せしめ逃げ惑ふ敵兵に更に銃撃を加へ殆どこれを殲滅した。

五月九日 臨時物資調整局官制（勅令第三

二四號）公布

臨時物資調整局分課規程決定（九日官報

二二九頁）

滄河南岸に進出せる部隊は同河北岸の敵陣地を突破し固鎮南方地區に進出せり又蒙城を占領せる部隊は更に當面の敵を攻撃中なり。

五日以來潯河南岸の敵の三線に互り主陣地を攻撃中の我が部隊は遂に七日潯河の線に進出更にその北岸陣地に對し猛攻中である、更に津浦線東側地區において我が諸部隊は潯河南岸の敵を全く驅逐、津浦線西側ではこれに聯携して我が諸部隊は七日潯河南岸陣地を撃破し引續き北岸陣地に對し獲攻を開始した。

我が軍は全線に互つて勇躍泥濘の中を北進を開始し北潯河、渦河後方數條に互る第二、第三陣地を破竹の勢ひで占領、六日〇〇〇、〇〇、〇〇〇を占領、右翼の各隊は〇〇〇を六日未明占據、蒙城縣城の東側の後方に現れ八日蒙城縣城の北門に殺到、南方正面より進撃の各部隊と協力雨中を總攻撃激戦十數時間にして隴海

線附近戦線の敵の重要地點たる蒙城縣城を九日占領撃の日章旗は輝いた、敵大部隊は除州、開封に至る五十個師その數十數萬といはれわが軍の手に歸した蒙城縣城はこの敵大軍の包圍線をなす重要地點である、蒙城縣城で敗れた敵前衛部隊凡そ二個師は雪崩を打つて西北方に潰走中である。

五月十日

寧國附近に蠢動しつゝある約十二營の敵遊撃隊に對し我が〇〇部隊は神速果敢に活躍し一日以降隨所で交戦左の如く敵に大打撃を與へた。

- 一、迫撃砲及びチエコ機銃を有する約一千の敵と盤山鎮附近で交戦撃退、敵の遺棄死體三百。
- 一、迫撃砲を有する敵一千五百を孫家蚌埠附近で撃退、敵遺棄死體百。
- 一、双橋鎮にて迫撃砲を有する約六百の敵を反撃、敵死體約百。
- 一、洪橋にて敵約一千五百を遊撃敵死體五十。
- 一、竹潯度驛附近において六百の敵と交戦、敵死體五十。